

## 2005 年度 WG 活動成果報告

(2006 年 2 月 17 日作成)

WG 名	市民企画講座 WG		主 査 名：林 康裕 就任年月：2005 年 4 月
所属本委員会	災害委員会		委員長名：林 静雄
設 置 期 間	2005 年 4 月 ~ 2008 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	設置目的：災害に関する知識を一般市民へ伝えるシンポジウム・市民講座等の企画 ・横浜会場の震災対策技術展において、シンポジウムの開催 ・各支部からの企画募集・決定とその企画の開催支援		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：なし		
	主査：林 康裕(京都大学) 幹事：牧 紀男(京都大学) 難波 尚(神戸大学) 渡辺 千明(秋田県立大学) 委員：戸松 誠(北海道立北方建築総合研究所) 田中 礼治(東北工業大学) 花里 利一(大成建設(株)) 佐藤 篤司(名古屋工業大学) 田守 伸一郎(信州大学) 大谷 恭弘(神戸大学) 三浦 賢治(広島大学) 松島 学(香川大学) 崎野 健治(九州大学)		
2005 年度予算	1,000,000 円	ホームページ公開の有無：なし (但し情報は随時インターネット WG 等の HP に掲載) 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	5(うち、メール審議4回)回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	なし
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1.(名称)津波防災まちづくりシンポジウム in おくしり 参加者数 70 名 (資料名)津波防災まちづくりシンポジウム in おくしり(CD-ROM) 2.(名称)第 10 回「震災対策技術展(横浜)」関連講演会 参加者数 130 名 (資料名)来るべき大地震に対する都市と地方の木造住宅の備え 3.(名称)防災市民講座「親子で考えよう、防災対策」 参加者数 40 名程度(予定) (資料名) 未定
大会研究集会	なし
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	特になし
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1.横浜にて開催のシンポジウムには 130 名の参加者を得、また当 WG の活動 PR をすることができた。 2.北海道支部企画を奥尻町にて開催することができた。その活動報告 CD を横浜でのシンポジウム参加者にも配布することができた。 3.3 月 4 日に和歌山県にて開催の近畿支部企画も準備進行中である。
委員会活動の問題点 ・課題	1.WG の活動・情報が各会員にまで伝わっていないので、情報伝達方法に関して創意・工夫する必要がある。 2.遠隔地での支部企画開催は、支部の予算負担が大きい。

\* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。